

令和6年度(2024年) 市川市文化祭
第34回 市川市写真展

作 品 募 集

テーマ・内容：自由

■ 出品受付・作品搬入

10月13日(日)午前10時～午後4時
市川市文化会館 地下1階展示室

■ 会 期： 10月15日(火)～10月20日(日)
午前10時～午後5時
(最終日20日は午後2時まで)

■ 会 場： 市川市文化会館 地下1階展示室

■ 問合せ先： 市川市写真連盟 090-7702-1910(佐久間)
市川市文化芸術課 047-712-8557

■ 主 催： 市川市、市川市写真連盟

令和6年度 市川市文化祭
第34回 市川市写真展

－ 公 募 要 項 －

- 1 趣 旨 本写真展は、写真を通じて市川市の芸術文化の推進・向上に寄与することを目的とし、皆様の個性溢れる作品を広く公募いたします。
- 2 応募資格 地域を限定せず幅広く作品を募集します。
- 3 テーマ 自 由 （但し、未応募の作品。）
- 4 出品規格
- | | |
|-------|--|
| 種 類： | カラー・モノクロ、単写真・組写真 いずれも可 |
| 形 式： | 額装 または パネル貼り に限る |
| 大きさ： | 横65cm以内×縦100cm以内を厳守。 |
| 題 名： | 所定の用紙に13文字以内で記入のこと |
| 出品点数： | 一人 2点以内 |
| その他： | 額装には、ガラスを使用しないでアクリル・塩化ビニール等を使用して下さい。また、額・パネル何れも裏面に吊り下げ用の紐をしっかりとつけて下さい。 |
- 5 会 場 市川市文化会館 地下1階展示室
- 6 搬入期日 令和6年10月13日(日) 午前10時～午後4時の間に搬入して下さい。
- 7 出品手続 出品申込書に必要事項を記入し、出品手数料 一人 2,000円(高校生以下は1000円) を添えて受付手続きをし、その後各自で会場内の展示場所へ置いて下さい。
- 8 展 示 上記規格に基づいた作品は原則としてすべて展示致します。
- 9 展示期間 令和6年10月15日(火) ～ 10月20日(日) 午前10時 ～ 午後5時
(但し、10月20日(日)は 午後2時まで。)
- 10 審査員 林 義 勝 写真家（詳細プロフィールは最終頁に記載されています。）
- 11 審査員講評 10月20日(日) 午後 2時 ～ 3時、地下1階展示室にて行います。
- 12 表 彰 優秀作品には 市長賞・市議会議長賞・教育長賞・観光協会会長賞・市川市写真連盟賞・入選10点、佳作25点を選定します。
- 13 表彰式 10月20日(日) 午後3時より、地下1階展示室にて行います。
- 14 作品搬出 10月20日(日)、表彰式終了～午後5時の間に各自作品を確認のうえ、必ず搬出して下さい。（搬出されない作品は破棄致します）
- 15 その他 *作品は努めて取り扱いに注意しますが、やむを得ない事情で発生した事故については責任を負えません。
*事情により第11～13項を中止する等の変更がある場合は会場に掲示します。
- 16 問合せ先 市川市写真連盟 090－7702-1910（佐久間）
市川市文化芸術課 047－712－8557

受付No

第34回市川市写真展 出品申込書

令和6年10月13日

ふりがな		男	いずれかに○	学校名、所属する会がある方は会名
氏 名		女	一 般 学生：小・中・高	
住 所	〒			電話（携帯希望）
題名① (13文字以内)	(ふりがな)			
題名② (13文字以内)	(ふりがな)			

◎公募要項を承諾し、上記により出品を申し込みます。

・

本人控え

氏 名	
題名① (13文字以内)	
題名② (13文字以内)	

領収書

金2,000円也

市川市写真展出品料として
上記の通り領収致しました
令和6年10月13日
市川市写真連盟

-----切り取り線-----

※額・パネルの裏面に貼付して下さい。

氏 名	(ふりがな)
題 名 (13文字以内)	(ふりがな)
電話（携帯希望）	

-----切り取り線-----

※額・パネルの裏面に貼付して下さい。

氏 名	(ふりがな)
題 名 (13文字以内)	(ふりがな)
電話（携帯希望）	

審査員プロフィール

林 義 勝 （はやし よしかつ・写真家）

1950. 3. 3 生、東京都出身

昭和を代表する写真家林忠彦の四男。

人物写真撮影でデビューを機にエディトリアル分野で活躍。歌舞伎、能楽などの「伝統芸能」の写真や、文学・風土などの「歴史」を背景に織り込んだテーマ写真を得意とし、写真集・雑誌編集執筆などで活躍。

日本の原風景および「龍」、「能」などの撮影に取り組む。国内及び海外で写真展を多数開催し成功を収める。

現在、フォトセミナーや審査などを通して、写真愛好家の育成にも携わっている。昨年はフォトコン全国展一般部門の審査員もされた。

現公益社団法人日本写真家協会会員

林忠彦作品研究室代表